



カレーライスのうた



導入がワクワク感を膨らませる

オータム  
フェスタ  
(実習報告会)



やぎさんゆうびん



先輩の話に1年生もくぎづけ

2020年度 聖句

「見よ、新しいことをわたしは行う。  
今や、それは芽生えている」  
(イザヤ書43章19節)



CONTENTS

続報：新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組み	2
シリーズ研究室紹介③	3
TOPICS	4
卒業生の活躍、父母会長からのメッセージ	5

## 続報：新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組み ～コロナ禍での学生生活を保育・福祉の学びに生かす～

学生部長 山本美貴子



本学では引き続き、文科省・厚労省・県市の通達や情報提供、他

大学・実践現場・地域の対策や感染状況などの情報を基に、全ユニット・委員会において感染拡大予防対策の更新に努め、学生・教職員の健康と安全を確保しつつ、授業と実習の充実を目指して日々取り組んでおります。学生・ご家族の皆様のご協力により、おかげさまで感染者を出さずに（11/20現在）、分散登校・分散授業とリモート課題のハイブリッド型の教育を継続、2年生2回の実習を修了し、共に学ぶ時を実現できていることに深く感謝しております。さらに対面・オンライン授業の充実などより良い教育実践に取り組んでまいります。

以下、大下聖治副学長がIZUMI NEWS vol.45（本年6月発行）にてお伝えした内容以降の、本学の主な感染拡大予防の取り組みについてご報告いたします。

### ①「学生への情報提供・連絡方法の確立からスタート」

本学HP・TOPページに「新型コロナウイルスに関する本学の対応について」バナーを設け、最新の情報にアクセス可能にしました。またテレミーティング・郵送資料を活用し、全学年・グループ毎・実習など科目毎にGoogleClassroomを開設、学生が必要な最新情報を迷いなく得られる環境を整えることからスタートしました。

### ②「全教室・校内各所・スクールバスの感染拡大予防対策」

窓の常時開放・空調活用による換気と温度管理の両立、清掃・消毒の徹底、三密を避ける対策（各所利用定員の減、ソーシャルディスタンスを確保して利用可能な席の明示、廊下・階段の通行帯表示など）、飛沫感染対策（アクリル板・カーテンの設置・マスク着用の徹底など）、各省庁からの情報を基に随時改善しながら、丁寧で確実な感染拡大予防対策の実行を目指しています。

### ③「WITHコロナ・新しい学校生活のルール策定と周知」

分散登校・対

面授業に際し、学生の健康を守り感染拡大を予防するための新しい学校生活のルールを策定（一例…発熱などの相談後は出校停止として欠席回数に心配なく健康回復に専念するルールなど）。フロチャートなどを用いて利便性を高め、常に最新状況に即して改訂しています。

### ④「学生の健康状況の把握、不安解消と公的機関への連絡などの支援」

学生の健康状況を把握（毎朝の検温と記録、スクールバス乗車時の体温測定など）、発熱・体調悪化時は登校前に短大に連絡・相談を必須として、個々の学生の事情に寄り添った対応に努め、心身の健康の回復・PCR検査などに関わる不安軽減を第一に、居住地域の帰国者接触者相談センターへの連絡など感染拡大予防の責任を果たすための支援を行っています。更にこうした対応について個人情報に配慮した形で随時学内で情報共有し、緊急時の迅速・確実な対応に備えています。

### ⑤「各種情報提供（奨学金・支援金・通信機器貸与）と支援」

日本学生支援機構、地域・団体の学費支援情報を提供しています。また、学費延納制度やWiFiルーターの無償貸与など、教育のICT化に向けた学生の学習環境整備の支援を行います。

### ⑥「その他」

前回報告した取り組みと上記①～⑤の対策の他にも、学生・全教職員・協力各社（食堂、売店、スクールバス、警備、清掃）・実習先の皆様と共に、さまざまな対策に取り組み、幸いなことに効果を上げています。これからもインフルエンザなどの流行期に気を引き締めて拡大予防対策を継続しつつ、国内の感染状況に同じ可能な範囲の中で、授業・実習に加え学生が学びを楽しみ経験を深める教育・課外活動を模索してまいります。

「WITHコロナの新しい生活」も間もなく1年が過ぎようとしております。世界中の人にとってそうであったように、本学で学ぶ学生・ご家族にとって、大学での養成教育にとつて、難しい日々が続いております。

しかし一方で、「健康・感染予防について子どもに伝えるには？」と意欲的に学び、「心身の触れ合いや近い距離でのコミュニケーションが信頼関係や愛情を育くむ上で欠かせないと実感した」と保育・福祉において大切なことをあらためて考える機会と捉えている学生の声に、力強さを感じております。コロナ禍での経験を学生の保育・福祉の学びに生かし、引き続き感染拡大予防対策に努めてまいります。

# シリーズ研究室紹介③

地域連携推進センター長・図書館長 櫻井奈津子 教授

私が専門としている「社会的養護」は、保護者による養育が困難・不適切な状況にある子どもを公的責任で養育するもので、かつては施設や里親による「代替的養護」を示す言葉でした。少子高齢化や子ども虐待の増加が社会的な問題となり、親の養育を代替するだけでなく、子育て支援や家庭養育を補う活動の重要性が認識されるようになって、児童養護施設や乳児院など入所施設の役割に「地域支援」が含まれるようになりました。

私がとくに研究の対象としているのは、「里親による養育への支援」です。かつて東京都養育家庭センター（\*）のワーカーとして勤務していた経験から、里親養育には公的支援が不可欠だと感じていたからです。

2012年の里親支援事業の実施以降、里親支援の必要性も認識されるようになってきましたが、社会的養護を必要とする子どもの多くが施設養護を受け、里親養育が低迷している状況はなかなか変わりません。2016年児童福祉法改正で、里親・ファミリーホームへの委託（家庭養護）を優先する原則が規定されましたが、それでも家庭養護の割合は2割というのが現状です。

現在、私は「里親認定前研修」「里親登録更新研修」「児童福祉司任用後研修」その他里親支援を行う職員に対する研修などの講師を務め、一時保護所職員に対するスーパービジョン活動も行っています。こうした活動を通し、一人でも多くの子どもが、安全で安心できる家庭で育つことを応援していきたいと考えています。



\*「養育家庭」とは、東京の養育里親のこと。

養育家庭センターは1973年4月の東京都養育家庭制度実施に伴い都内4か所の施設に設置され、順次9か所まで増えて、養育家庭制度の普及・養育家庭の募集・相談・委託後の支援などを行っていたが、2002年3月に廃止となった。

## 2020年度 表彰者

### 眞鍋記念奨学金(前期)

児童福祉学科1年 角井 風香  
(県立相模原青陵高等学校出身)



いままでの和泉での生活は私にとっても、大きな刺激となるものでした。また、先生方、友達に謝の気持ちでいっぱいです。これからも一生懸命、頑張っていきたいです。

児童福祉学科1年 山中 麻以  
(文化学園大学杉並高等学校出身)



ずっと描いていた夢の為に様々な知識を学べる事がとても楽しいです。経験からの学びを大切に、日々成長していくために努力を惜しまないように頑張ります。

専攻科介護福祉専攻 渡邊 里菜  
(都立小川高等学校出身)



コロナ禍で登校することも難しい中、授業が受けられる環境に感謝しながら学ぶことが出来たと感じています。これから国家試験も控えているので、今以上に勉学に励んでいきたいです。

児童福祉学科2年 小俣美由紀  
(県立相模原総合高等学校出身)



コロナウイルスの影響もあり授業形態や実習期間等も普段とは違っていました。先生方のおかげで楽しく知識を身につけることができました。後期は学びの集大成として保育力に磨きをかけることができるよう、しっかりと学んでいこうと思います。

児童福祉学科2年 川野 翔太  
(県立中央農業高等学校出身)



新型コロナウイルスが蔓延し、世の中が変化した中で、授業や実習が出来るといふ事に感謝しながら勉学に取り組みできました。これからも、学びを深め保育を追求していきます。

### 〈学生顕彰制度〉

#### 和泉短期大学学長賞(前期)

児童福祉学科1年 大島有理沙  
(県立霧が丘高等学校出身)



今回はこのような賞を頂きありがとうございます。コロナ禍で外遊びが出来ない子ども達に向けて、お家で親子が楽しめる動画をこれからも頑張ってお作っていきたく思います。

専攻科有志 野堀 彩夕  
(県立津久井高等学校出身)



新型コロナウイルスの感染に不安を抱いておられますが学びたいという思いで毎日学校に通っています。将来の夢に向かう私達和泉生が少しでも安心して通えるようにと活動させていただきました。楽しい時間を安心して過ごせるようこれからも配慮していきたいと思っております。

児童福祉学科2年 川上 桃乃  
(都立町田総合高等学校出身)



学長賞をいただくことができて、嬉しく思っています。今後職員の方や学生スタッフと一緒に、オープンキャンパスを通して高校生に和泉の魅力を伝えていきたいと思っています。

児童福祉学科2年 河合 真夏  
(県立相模原青陵高等学校出身)



私は和泉のオープンキャンパスに携わり、高校生やその保護者に和泉の魅力を伝えていっています。私は魅力を伝えていく中で、自分自身も和泉の良さに毎回気付かされます。そんな魅力溢れた和泉での残りの学生生活を友人とともに学び、励まし合いながら大切に過ごしていきたいです。

## 学ぼう遊ぼうキャンパスライフアワー・アクティブラーニング週間（通称：まなキャン） ～ 学びを遊び、保育・福祉らしい学びを実践的に得られる「和泉らしい時間」を～

7月22日（水）、29日（水）、8月19日（水）、26日（水）キャンパスライフ・アワーに、ワークショップ「まなキャン」を開催しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止が最優先され、やむを得ず、委員会・サークル・行事等は休止、自由な交流や親睦に制約がある毎日です。コロナ禍でも学生たちがグループや学年を超えた交流の時間をもち、ひと時でも保育・福祉の特色ある学びを楽しみながら体験してほしいという願いのもと企画されました。少人数予約制で参加合計人数は87名。参加者からは、「とても充実した時間でした。また機会があれば参加したい。」との声もあがりました。教職員に見守られ、参加学生は感染予防に配慮しながら和泉らしい時間を過ごしました。

### 【ワークショップ内容】

- (1) ピアノの不安を吹き飛ばそう！楽しくレベルアップ！
- (2) パソコンでオンライン学習をしよう！～パソコンでの課題提出方法～
- (3) ライティング・スキル基礎講座テキストⅠ「レポートの書き方」説明Ⅱ演習
- (4) コロナウイルス対策！正しい手洗い方法にしよう！
- (5) コロナウイルス対策！消毒除菌のプロになろう！！
- (6) オレンジリボン（子ども虐待防止）活動に参加しませんか！～オレンジリボンを作って贈ろう～
- (7) こどもの抱っこにも負けない！腰痛防止のメソッド
- (8) プレ聖歌隊！懐かしのクリスマスメドレーを歌おう～広い空間を利用して～



こどもの抱っこにも負けない！腰痛防止のメソッド



ライティング・スキル基礎講座テキストⅠ「レポートの書き方」説明Ⅱ演習



プレ聖歌隊！懐かしのクリスマスメドレーを歌おう～広い空間を利用して～



コロナウイルス対策！正しい手洗い方法を身につけよう！

## TOPICS

### 2020年度高校教員進学説明会

9月2日（水）、和泉クラーク・ホール（3号館）及び101教室において2020年度 高校教員進学説明会を開催しました。本学の概要説明、2020年度の入試説明の後、個別相談、学内見学をしていただきました。

コロナ禍の中でしたが、東京・神奈川の高校から進路指導の先生方に参加いただきました。学生も久しぶりに恩師との再会で大変喜んでいました。



### 避難・防災訓練

9月9日（水）に、公益財団法人 相模原市まち・みどり公社、青葉二丁目自治会共催による、避難・防災訓練を相模原市消防局相模原消防署緑が丘分署に協力いただき避難防災訓練を実施しました。

1年生・専攻科生と教職員が、訓練用の煙が立ち込める校舎から、避難集合先の淵野辺公園へ避難しました。点呼の後、相模原消防署緑が丘分署様のご指導により、起震車・水消火器・AEDの訓練を実施しました。その後、キャンパス内に設置している、防災井戸から飲料水を造るデモンストレーションも行い参加者全員が試飲しました。また、それらと並行して学生と教職員の安否をオンラインで確認する「安否確認システム」の訓練も実施しました。

保育者を目指す本学生にとって、貴重な体験となりました。



### 就職説明会・卒業生を招いての就職懇談会を開催

8月1日（土）「キャリアデザインⅡ（2年生）」の授業において、相模原市幼稚園・認定こども園協会（会長黛裕治先生）と相模原市保育連絡協議会（会長小磯英次先生）の先生方をお招きして、就職説明会を開催しました。

新型コロナウイルス感染対策として、教室を4教室に分けて、幼稚園の園長先生方からは幼稚園の現状、8月2日（日）に行われる、相模原市幼稚園・認定こども園協会主催「就活・実習フェス」のお話、保育所の先生方からは、保育所の現状と保育士として活躍する本学卒業生9名が参加していただき、「就職先を決めた理由」、「仕事内容」など、経験を基にわかりやすくお話をいただきました。

同日、5限「卒業生を招いての就職懇談会」を開催しました。保育所、認定こども園（幼稚園型）、放課後等デイサービス、特別養護老人ホームの卒業生6名と専攻科介護福祉専攻1年生2名の在学学生を招き、就職活動体験、仕事のやりがい、専攻科進学動機などについて各教室で講演をしていただきました。



### オータムフェスタ ― 学びの収穫祭 ― を開催しました

新型コロナウイルス感染症により開催中止となりました「いずみ祭」に代わり2年生が体験した実習を1年生に発表する「オータムフェスタ」が行われました。当日は、グループごとに分かれ、発表者からは楽しかった子どもとのエピソード、保育に活きる日誌の書き方、責任実習までの道のり、保育所実習の1回目・2回目の自分自身の成長過程、実際に子ども前で使った教材、年齢に応じた絵本選びなど、実習で体験した貴重な経験を余すことなく、また保育実習を目前にした1年生へ「頑張れ」とエールの気持ちを込めて発表がされました。1年生にとって大変実りある機会となりました。

4回の実習を一緒に歩んできた教職員は、堂々と発表している2年生の姿に感慨深い想いで見守っていました。



### 2020年度第8回保証人会を開催しました

2020年10月31日（土）に第8回保証人会を開催し、1年生26名、2年生13名合計39名の保証人の方々にご出席をいただきました。

例年はいずみ祭時に1年生の保証人のみを対象として開催しておりましたが、今年度は分散登校、リモート授業、新型コロナ対策も含め、保証人と学校との情報共有が必要であることから両学年の開催としました。

1年生は学長、2年生は副学長が冒頭の挨拶をさせていただき、その後 全体会と個別面談の二部構成で進行了ました。1年生は実習サポートセンター松山洋平センター長より「初めての实習へ 日常生活でできる10のこと 実習で育つ和泉生」、2年生は山本美貴子学生部長より「就職活動と就職支援について」の講演をし、保証人の皆様にも本学の実習、就職活動についてご理解を深めていただく機会となりました。またご家庭での精神的サポートも実習、就活では大変重要であることをお伝えすることもできました。

個別面談は希望制で、各グループアドバイザーが対応を致しました。学校生活、成績、進路に関してなど感染防止対策をしたうえで対面での面談をすることができました。



## 卒業生の活躍 (第22回)

社会福祉法人七五三会 いづみの里 管理課課長

(二〇〇五年三月 卒業生) 西村 安生さん



現在の職場は町田市内で保育所と高齢者施設を運営しており、13年前に再就職先を探していた際、和泉の先生が紹介して下さいました。その頃、今の職場が保育所の立ち上げを進めている最中でした。保育士としてしか働いた事のない私は、事務経験などなく、立ち上げなんて未知の世界。先輩に教えて頂きながら事務仕事を学び、行政や業者とのやりとり等、新しい事だらけの日々でした。なごみ保育園の運営が始まり、再び保育士として勤務する一方、事務仕事も継続していた私は、事務仕事で自分の得意分野である事にも

気付きました。数年経ち、再び保育所を立ち上げる事になった際、前述の経験が評価され、再び保育所の立ち上げメンバーに選ばれ、周りと協力しながら、なごみ第二保育園を立ち上げました。その後、第二保育園で保育主任として勤め、園長や副園長と共に保育園の基盤作りに奮闘していた所、法人本部にも保育を知る人材が必要という事で、私の勤務実績や事務能力が評価され、管理課長として本部に異動し現在に至ります。13年前、管理課長になる自分を想像もしていませんでしたが、どんな事でも挑戦してみる事で、自分の幅が広がる事がよく分かった13年間でした。これからもまずは挑戦する事を大切に、高齢者福祉と児童福祉の両方に尽力していきたいと思っています。

先日、高齢者施設に和泉の専攻科の学生が介護実習に来ました。緊張しながらも、丁寧に挨拶する姿を見て、改めて、人としての基本的な事を学び、身に付ける事の大切さを感じたと同時に、後輩のその姿を見て、私も嬉しい気持ちになりました。人格形成は和泉の建学の精神ですが、その大切さがようやく少し分かった気がします。

## 父母会長からのメッセージ

### 「新型コロナウイルス感染下で和泉の授業」

和泉短期大学父母会第34代会長 林 都希子



日頃より父母会活動にご理解、ご協力を賜りお礼申し上げます。

本来なら、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるはずであった2020年。世界中の誰もが予想もしなかった「新しい生活」が始まりました。

和泉短期大学の学生の皆さんも、去年までの学びとは全く違う学習環境となりました。隔週での登校、動画で配信される授業・沢山の課題提出に戸惑いながらも取り組んでいることと思います。

我が娘も、最初の頃は「普通の学生生活」を送れないことに多少の不安を口にすする事もありましたが、時間が経つに連れて「普通の学生生活」を送れる事の有り難みを話す様になりました。なかなか会

えない友人達にはSNSを上手く利用し、授業や課題の相談をしたり、趣味の話をしながらかミュニケーションをとっている様子です。娘の「去年までと全く違う学生生活」を見ている親として感じているのは、先生方が親身になって話を聞いてくださっているという事です。学校に頻繁に行けないので、困った時にはグループアドバイザーの先生とメールのやり取りをさせていただいています。

そんな中、6月には幼稚園実習・また9月は保育所実習にも行くことが出来ました。和泉での愛に満ち溢れた暖かい学びがいかに大切なことなのか、娘なりに感じ取ったようで親としてとても嬉しく思いました。

しばらく続きそうなこの状況ですが、価値ある和泉での学びを大切に、また世の中が少しでも良い循環に歩み行くものとなります様にお祈りしています。

## 人事

任用(2020年9月7日付)

沖 安子 学生支援ユニット(非常勤)

## 表彰

文部科学省 短期大学教育功労者表彰

深町 正信 前理事長

武石 宣子 理事・特任教授

## 訃報

故 中村 初江 氏

教育・学習支援ユニット(実習担当)職員

池田なつみ 御祖母

(2020年9月14日)

故 横井 光男 氏

健康管理センター 看護師・保健師

河野徳美 御尊父

(2020年10月8日)

主による平安をお祈りいたします。

## 2020年度 和泉短期大学「愛のいずみ基金奨学金」(給付型奨学金)のお願い

学校法人和泉短期大学の原点であるララ物資の精神を引き継ぐために本学教職員・法人関係者の方々からの寄付を中心とした本学独自の給付型奨学金基金を2018年度より設立しました。

現在の社会・経済環境が甚だ厳しい状況にありますが本学独自の愛のいずみ奨学金基金の趣旨をご理解のうえ、和泉短期大学の学生の支援充実のため、一人でも多くの方々のご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

募金目標金額 3,000,000円  
 募金募集期間 2020年6月～2021年3月(第3期)  
 募金金額 1口5,000円  
 払込方法 郵便振替口座  
 口座番号 00280-6-105705  
 口座名 学校法人 和泉短期大学  
 愛のいずみ基金奨学金

### 所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

### 法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。

詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先 学校法人 和泉短期大学 庶務ユニット(経理担当)  
 042-754-1133

寄付者一覧(敬称略) <2020年8月1日～2020年11月30日>

足立 元広・明子/石塚 節子/岩野喜美男/上田めぐみ/岡田 康子/小澤 博道/小池 教興/雑賀えり子/佐久間志保子/佐野 幸枝/志村すい子/須山 加奈  
 田口喜久江/戸田 美穂/中野 陽子/中畑 宏幸/平塚 豊/古川 幸子/松井 敏枝/溝口 敏江/匿名希望(15件) 以上35件 420,000円

## 2020年度「教育環境充実資金募金」のお願い

学校法人和泉短期大学は1956年4月東京都世田谷区中町に「バット博士記念養成所」を開設し、同年5月「現任訓練講習会」を開催したことに始まります。1960年、その現任訓練機関が「玉川保母専門学院」となり、1965年に「和泉短期大学」が設立され、2020年5月に学校法人和泉短期大学は創立64年を迎えました。

学校法人和泉短期大学を卒業された卒業生は19,415名の方々の働きや努力と活躍により発展成長したものと深く感謝申し上げる次第であります。

和泉短期大学は、教育の充実を図り、学修環境整備、施設設備の維持整備を目的に2020年度も「教育環境充実資金募金」を行うことになりました。

みなさまには出費多難な折とは存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募金対象事業 1. 3号館空調設備チラー(2台)交換工事  
 2. 3号館和泉クラーク・ホール外壁等防水工事  
 3. その他教育環境改善費他

寄付者一覧(敬称略) <2020年8月1日～2020年11月30日>

足立 元広・明子/岩野喜美男/上田めぐみ/大塚真光子/岡田 康子/沖津みや子/小澤 博道/小池 教興/小久保光世/佐久間志保子/佐野 幸枝/須山 加奈  
 戸田 美穂/中野 陽子/中畑 宏幸/中山多恵子/西田 伸江/平塚 豊/古川 幸子/松井 敏枝/山口 友紀/匿名希望(9件) 以上30件 355,000円

募金目標金額 10,000,000円  
 募金募集期間 2020年6月1日～2021年3月31日  
 募金金額 1 個人 1口 5,000円  
 2 法人 1口 10,000円

### 所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

### 法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。

詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先 学校法人 和泉短期大学 庶務ユニット(経理担当)  
 042-754-1133

## 遠隔授業の充実に向けたポケットWi-Fiの無償貸出

オンライン授業促進ワーキンググループ長・教授 鈴木敏彦

本学では、学内における新型コロナウイルス感染症拡大防止と、アクティブラーニング(学生自身の主体的な学び)の促進のため、対面授業を中心としつつICT機器を活用した遠隔授業(自宅学習)を併用する「ハイブリッド授業」を展開しています。授業担当者は「Zoom」、「YouTube」、「Google Classroom」、「Gmail」等のツールを活用し授業の充実に向けて努めています。

遠隔授業の実施に際して、ワーキンググループが調査を行ったところ、ほぼ全員の学生がスマートフォンを保有していることが分かりましたが、通信環境にはばらつきが大きいことが判明しました。そこで、通信環境が十分ではない学生を対象として、11月よりポケットWi-Fiの無償貸出しを実施しています。貸出しを受けた学生からは、「自宅でも学内と同様の授業が受けられることは、通学距離が長い自分にとっては安心できる」、「50ギガの通信量があることで、家族のリモートワークと重なっても不安がない」等の声が寄せられています。和泉短期大学は、コロナ禍のなかでも学生一人ひとりに寄り添い、その学びを止めることなく歩んでまいります。



## 相模原市オレンジリボン・キャンペーンに協力

11月からの児童虐待防止推進月間に先立ち、2020年10月30日(金)16:00～16:15に相模原市長を訪問し、児童福祉学科の学生が作った児童虐待防止のシンボルマークのオレンジリボン1,000個を、学生を代表して児童福祉学科1年の鷹尾未来さんと上坂美友さんから本村相模原市長に手渡しました。相模原市に寄付されたオレンジリボンは、緑区合同庁舎、ウェルネスさがみはら、南保健福祉センターにて、配架されます。

和泉短期大学は、「オレンジリボン運動」(児童虐待防止推進活動運動)に賛同しており、2009年より相模原市と協力し、児童虐待防止に向けた活動を全学あげて支援・推進しています。2009年から毎年、11月の児童虐待防止推進月間に、本学学生が作ったオレンジリボンを相模原市こども・若者未来局、相模原市民生児童委員協議会、相模原市児童虐待・いじめ防止連絡会、市内児童福祉施設の方々と協力して街頭配布しています。本年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、街頭啓発活動は中止となっています。



相模原市・本村相模原市長へ  
 オレンジリボン寄付の様子



学生によるオレンジリボン作りの様子